

# 寄る辺に灯をともしよう

会報 No.3

2012年.11月

自己責任が叫ばれる社会の中で、路上生活者への支援活動は始まった。関心を寄せる人も少なく厳しい意見もあるなか、少ないメンバーでお弁当を手渡してきた。特別なことではない。お弁当を介して友達になっていく。友としての会話から、置かれている現実、健康状態、希望がわかり、困っている友人へちょっとしたお手伝いをする。

成長に繁栄を求めた世界は、成長が宿命となった。しかし、その流れとは違うところにも人は生きている。これからも命の灯をともし続けていきたい。「寄る辺に灯をともしよう！」

カトリック教会司祭 紙崎新一



— 路上で暮らす人々への支援を始めて4年目になりました —

2009年7月に発足して以来、長崎市中心部と一部周辺地区において、路上で暮らす人達の支援を行っている市民ボランティア団体です。住まいや職を失くし、家族や社会とのつながりも希薄となった人たちが、なんとか生活を立て直し、新たな生活に希望をもって歩み始めてもらいたいという思いで、自立へのお手伝いを続けてきました。

この3年半で、私達が関わった人達は、既に50名を越えています。住まいを得て生活が落ち着いた人たち、家族のもとに戻った人、就労に向けて訓練に取り組んでいる人もいる一方、一歩が踏み出せず路上で亡くなった方もいます。喜びや悲しみも分かち合いながら、5年目に向けて支援を続けて参ります。

長崎ホームレスを支援する会

## 活動の内容

- ◇弁当配り 毎週、水曜日早朝、木曜日の夜に市内数ヶ所で実施しています。
- ◇自立支援活動 路上で暮らす人達に生活面、健康面での助言や必要な情報を伝えたり、生活保護を受けてアパート入居された後も必要に応じて生活向上に向けての支援や就労支援を行っています。
- ◇会議など 例会、自立支援会議（毎月1回）、役員会、総会などを実施しています。
- ◇その他のご協力 済生会病院、掖済会病院、法テラス長崎などのご協力を得て医療受診、法律相談の支援を行っています。
- ◇ボランティア数 会員、準会員、協力者（弁当づくり）を含め、現在40～50名です。

# 活動紹介



詳しくは 当会の ホームページで ご覧になれます。

<http://www15.plala.or.jp/nagasakihomeless/>

（「長崎ホームレスを支援する会」で検索して下さい）



## 弁当づくり

木曜夜のお弁当は、会員（協力者）の手作り弁当です。  
カトリック飽の浦教会、長崎バプテスト教会、カトリック中町教会、カトリック深堀教会の支援者で作っています。  
お弁当作りの主な費用は会からの支出ですが、各教会等でそれぞれに工夫して心をこめて作っています。

私たちは、宣教社会奉仕部を中心に婦人会と有志の方たちとでホームレスの方たちのお弁当を作っています。最初は、第5木曜日でしたが今は2ヶ月に1度に行っています。各自がその日の夕食を1品ないし2品持寄り作っています。今回は9人の方が集まり、我が家の夕食より美味しそうな弁当が出来上がりました。不思議なことに料理は重なることがなく、それぞれの得意料理が集まり、冗談など言いながら楽しんでしています。

些細なことですがこれからも、自分たちのできることから奉仕していきたいと思っています。

カトリック深堀教会 K. H.



## 弁当配り

木曜日の夜午後9時30分頃に出島の交流会館前に集まり、幾つかのグループに分かれてお弁当配りに出かけています。お弁当の配布に出発する前には、簡単なミーティングを10分程します。ミーティングは、主にその夜のお弁当配り **木曜夜** のグループ分けと、先週の路上生活者の人達の様子はどうであったか等の報告や感想を話してもらう時間になっています。初めての参加者には自己紹介をってもらう時間も取っています。どうぞ気軽にご参加下さい！ K. I.

## 弁当配り

朝の弁当配りに携わってから10人程の人達と関わってきました。その中の一人(年配者)は自宅に戻り子供さん夫婦と暮らすようになりましたが時々退屈で淋しいと云って早朝とか夕方の散歩の傍ら仲間に会いに来ているそうです。又、若い人二人は仕事が見つかり、一人は福岡へ、一人は寮の或る職場で働くようになることを願っています。いま路上

**水曜朝** なりました。短気を起こさず頑張ってくれ生活をしている人達は年配者が殆んどです。仕事出来る年齢でもないし、どんな手助けがあるのだろうか？台風や大雨や雪の降る夜などどんな所で過ごしているのだろうかと心配しています。彼らが一日も早くこの路上生活から抜け出して穏やかな老後や人生を歩んで行くことが出来るよう祈りながら、朝の弁当配りを続けたいと思います。 N. F.

## 自立支援活動

## 2011年度の自立支援活動例

- ・生活保護受給支援：7名
- ・病院への同行支援：1名
- ・病院見舞い：3名
- ・葬送支援：1名



農業研修中のYさん



玉子の選別作業中のKさん

就労移行支援事業所



- ・アパート入居支援：7名
- ・引越し手伝い：4名
- ・居宅訪問：17名
- ・食料、日用品の差入れ：7名
- ・就業支援：4名

### アパートへ入居されたKさんからの寄稿です！

#### 「支援を受けた人間の思い」

世の中が不景気になって早15年。その頃会社を辞めたので、以来職探しに苦しみながらの15年であった。「呻吟」(しんぎん)この言葉が自分には実によく似合う。収入が悪くなり、家庭に居場所がなくなる。それでも仕事は探さなくてはならない。でも単発、スポット的にはあっても年間を通しての仕事はなかった。

とうとう家を追い出され、ホームレスになったけど車だけはあった。車の中で夜露をしのぐ生活になり、ほんの時々バイトにより食べ物を得た。しかし直に車も廃車しなければならなくなり、手放した。職安にもせっせと通っていたが、とうとう先方はさじを投げ、紹介されたのが、この「会」であった。いよいよ生活保護に成り果てるのかと思うと、情けなくて涙がこぼれた。でも、それが正解であった。住む家を確保でき、めしを食べる様になったことである。雨露しのげる空間と、白ごはん。この二つは、人間が人間として生きていく為の最重要なる二つであり、最低限必要なものである。 S. K.



# 支援のお願い



当会は、ボランティアの皆様のご尽力と、多くの皆様のご協力とご寄付によって支えられ、運営活動しております。お一人々にこころから感謝申し上げます。



## 〔寄付金〕

寄付金の主な使途：次のような活動費に使わせて頂きます。

- ・弁当作り ----- 食材費
- ・生活支援 ----- 防寒用品（肌着、衣料品等）、生活用品費、食糧品の緊急支援費
- ・緊急宿泊支援 ----- 一時宿泊費
- ・その他 ----- 講演会開催、広報チラシ作成などの啓蒙活動費

### 〔寄付金の振込先〕

下記の郵貯銀行の振替口座をご利用ください。

加入者名：長崎ホームレスを支援する会

記号番号：01750-9-87955

払込取扱票										通常払込料金 加入者負担			
02		口座記号番号								金額			
		01750				9				87955			
加入者名	長崎ホームレスを支援する会								料金	備考			

※ご寄付の際は、加入者負担の上記「払込票」をご利用頂けます。

必要な方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

## 〔物品の寄付〕

- ・衣類 防寒着、ズボン、ジャンパー、靴下、寝袋など（男性用）
- ・日用品 タオル、歯ブラシ、ヒゲソリ、ホッカロンなど
- ・その他 テレフォンカード など

※物品のご寄付は、ご寄付の前に下記のお問い合わせ先までお知らせください。

## ボランティア募集

とくに昼間に活動して下さるボランティアの方を募集しています。下記あてお問い合わせください。ご参加お待ちしております。

## お問い合わせ先

事務局 井手義美

・携帯：080-2714-8574

・携帯メール：[nagasaki.homeless@docomo.ne.jp](mailto:nagasaki.homeless@docomo.ne.jp)